

英語コミュニケーション学科のご紹介

学科名称をより分かりやすく変更します。

英語多文化コミュニケーション学科



英語コミュニケーション学科

学科の特長

1. 達成度別・少人数クラスで高い英語力を養成します。
2. 関連する5つの分野で専門性を高めます。
3. 毎年多くの学生がアメリカ・オーストラリアに留学します。*
4. 毎年多くの学生が国際インターンシップに参加します。*
5. 少人数のゼミで、専門性をみがきます。
6. 卒業生は、商社、メーカー、航空、物流、金融、教員、研究など、さまざまな進路に進んでいます。

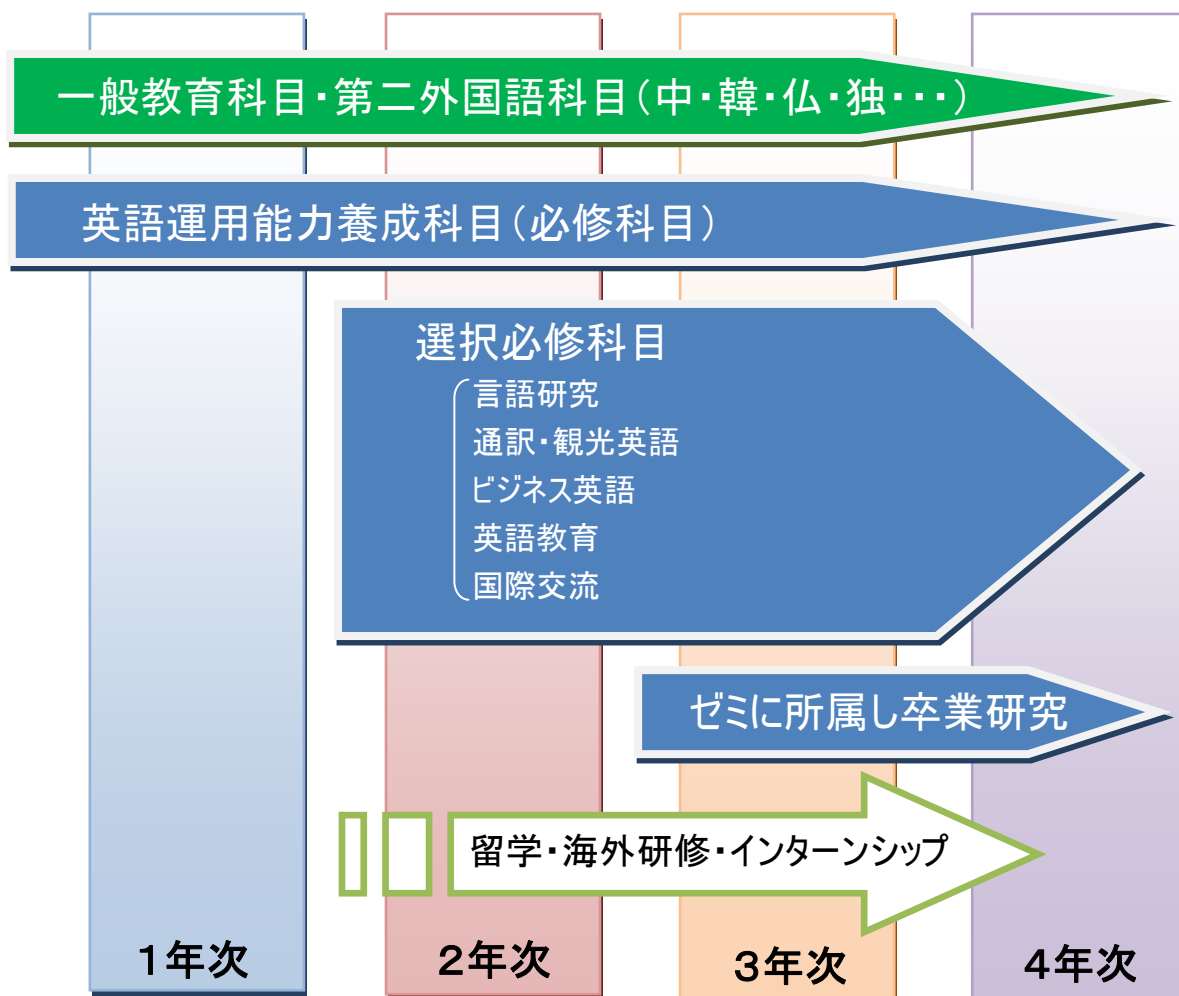
※選考があります。

英語力に加えて、高い専門性を身につけます。

5つの専門分野



履修の流れ



専門分野の内容

言語研究

- ・ 英語という言葉の性質を探求します。
- ・ 語彙、文法、意味、コミュニケーションの研究します。

通訳・観光英語

- ・ 基本的な通訳ができることを目指します。
- ・ 観光業界の英語を学びます。

ビジネス英語

- ・ 企業社会のコミュニケーションを学びます。
- ・ 貿易や企業会計の基礎を学びます。
- ・ 英語によるビジネス通信を学びます。

英語教育

- ・ 中学・高校での英語の教え方を学びます。
- ・ 小学校英語教育について学びます。
- ・ 言語習得の理論を学びます。

国際交流

- ・ 模擬国連やアジア・ユース・フォーラムなどの国際交流に参加します。
- ・ 多文化コミュニケーションの理論を学び、実践を積みます。

盛んな留学・海外研修

海外留学

- ・ 毎年約30名が参加。
- ・ 半期と通年の制度。卒業が延びません。
- ・ アメリカ、オーストラリア、イギリスの提携大学へ。
- ・ 単位互換・授業料免除制度あり。

Asian Youth Forum

- ・ 毎年3名が参加。
- ・ アジア各国の若者が交流するイベントです。
- ・ 開催地は、フィリピン、韓国、台湾、ロシアなど。
- ・ 参加費用助成制度があります。

Model United Nations (模擬国連)

- ・ 本学科の国際交流分野より10名程度が参加。
- ・ 各大学(神戸市外語大、京都外語大・・・)の代表団が集まり、国際問題について英語で討論し、解決策を探ります。

国際インターンシップ

- ・ 海外(アメリカ、オーストラリア・・・)の企業や団体で、仕事の体験をする制度。
- ・ 夏季休暇を利用して多くの学生が参加。

※これらの制度への参加や助成制度の適用には、英語力や成績などの条件と書類審査や面接などの選抜があります。